

一戦必勝！

井口、今季初完封で圧倒

青学大0-6駒大☆

1回戦
12年秋季リーグ
第6週・10月9日
1勝0敗



【上段左】
完封勝利を挙げたエース井口



【左】
今季本塁打を放った白崎



【右】
打撃好調の下川

青学大	000	000	000	0
駒大	000	060	000	6

(7)中	谷林	4	2	1
(8)小	川崎	1	0	0
(5)下	川崎	4	1	2
(6)白	崎越	4	1	3
(9)江	越	4	0	0
(3)福	山市	4	1	0
3	古藤	0	0	0
DH	齋藤	2	0	0
(2)戸	柱	3	1	0
(4)砂	川	2	0	0
		計 28 6 6		
▽本塁打=白崎				
		回	打安責	
○井	口	9	366	0

井口は5回、自らの失策で1死三塁の危機を招くがその後を三振、ゴロに仕留めた。計6安打を許したが、走者を背負いながらも落ち着いた投球を見せた。

5回、福山亮(経2)の中前安打から始まり中谷泰周(市4)が右前適時打で先制すると、なおも続く2死満塁の好機に下川知弥(営2)が中前2点適時打を放つ。さらに続く打者・白崎が「相手投手のボールの勢いを利用して打て」という監督の助言通り放った打球を左スタンドへ運んだ。4番の待望の一発は3点本塁打となり、試合を決定付けた。

投げては先発・井口拓皓(経4)が6安打を放たれながらも今季初の完封勝利を挙げた。打線は5回、白崎浩之(法4)の3点本塁打を含む集中打で一挙6得点を奪い青学大を圧倒。1部復帰後、初の勝ち点3を目指す。

現在首位を走る亜大の優勝を阻止するためには勝ち続けなければならない。西村亮監督も「うちは負けられない。最後まで緊張感持って戦いたい」と話し、優勝へ向け一戦一戦、望みをつないでいく。

「結果で見ればいいけど球の質的にはいまひとつ」と自身では納得のいく球は投げられなかったと振り返ったが、「井口が頑張っていたから完封させてやりたかった」と野手陣の好プレーも飛び出し零封でしつかり守り抜いた。

前カードで1部残留を確定させ、優勝するには一戦も落とせない戦いが続く。そんな中、11年春以来勝ち点を取れていない青学大戦で先勝。「下が無くなったので思い切ってきている。まだ上がある」と主将・小林勇登(経4)は上位争いに意気込む。

文Ⅱ服部萌香
写真Ⅱ松井智子、高橋伽奈

今週の一言：この時のためにやってきた。(白崎)